

## 事業所における 自己評価結果（公表）

公表：令和 6 年 3 月 25 日

事業所名 コベルプラス狭山 教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		・個室、プレイルーム共に十分なスペースを確保しております。	
	②	職員の配置数は適切である	6		・個別ではお子様一人に対して指導員一人、小集団では必要数の指導員を配置しております。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	3	・ unnecessary 棚(取り外しが難しい)に興味を示すお子様がいるため、板で塞ぐ等の対策をしております。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		・角にクッションをつけたり、ドアノブにカバーをつけたりと安全に過ごせるよう工夫しております。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6		・毎日カンファレンスを行い、支援方法に対しての話し合いを行っております。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1		・今回が初めての評価表になりますので、頂いたご意見を真摯に受け止め、改善に繋げていく所存です。

	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1		・研修については入社時のみだと思うので定期的に取り組むことがより充実していくと良いと思う。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	5		・現状実績なし。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1	・毎月指導員2名ずつほど事例検討会、ステージ研修という研修に参加しております。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		・ご本人、保護者様のご意向、また、指導員からのアセスメント時のご様子を踏まえた上で計画の作成を行っております。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2	・会社で定められたアセスメントツールを使用しております。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6		・ペアトレや保育所等訪問支援などの取り組みが始まり安定的に取り組めるのではないかと思います。	

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		・よく話し合いカンファレンスを設けている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	・プログラムの他に個別支援計画に基づいたプログラムを取り入れております。	

	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1	・月や日ごとに違った活動プログラムを取り入れております。	・月で固定化してしまっている。全国から集められた提案を積極的に採用し、プログラムに取り入れる。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	6		・個別、集団利用それぞれのご利用者様に合わせた計画を作成しております。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		・必ず確認を行うよう心がけて、サポートする側もスタッフ全員意識している。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	・当日が難しい場合、翌日に行ったり別日に設けたりと意識して取り組んでいる。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		・システムを利用し、療育ごとの記録を行っております。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		・計画更新の際に必ずモニタリングを行っています。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		・一人ひとり意見を出し偏りのない会議となっているように感じる。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	2	・保育所等の関係者との訪問支援など働きかけている。	・積極的に保健所等と連携をとる。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				

係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	1		・実績なし
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	2		・実績なし
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1	・毎月の事業所連絡会に参加し、他事業所との連携を図っています。	
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	4		・現状実施はございません。

	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	4		
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		・療育終了後には、フィードバックという形でお話する時間を設けております。	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6		・毎月ペアレントトレーニングを実施しております。	
	保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1	・契約時にご説明をしております。
③⑬		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		・計画作成後には別室にて計画のご説明をしております。	
③⑭		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		・毎回フィードバックでお話する時間を設け、ご相談等を	

					受け付けております。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	2	・ペアトレにて他の保護者様と関わる時間を設けております。	・来年度より保護者会の開催を予定しております。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1	・フィードバックで頂いたご意見等に関しましては、全職員に周知し、次回療育時には対応させて頂いております。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1	・避難訓練時の様子など紙面にて配布しております。	・来年度より定期的な会報の配布を予定しております。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	6	1	・鍵付きの書庫にて保管しております。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1	・視覚支援などを通してお子様に合わせた対応を行っております。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5		・実績なし
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		・マニュアルを策定し、月毎にマニュアルに基づいた研修を実施しております。	・資料は分かっているつもりだが、周知出来ているとは言い難い。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	1	・年2回以上の避難訓練を実施しております。	
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3	3	・フェイスシートにご記入いただいております。	・児童の情報としては把握している可能性はあるが、全体

					に再度ご確認をしております。	の把握としては尋ねたことがない。
④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2		・食事の提供はございませんが、教材の関係で小麦アレルギーのご確認をしております。	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			・ヒヤリハット作成時には、職員全員で話し合いを行っております。	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1		・年2回以上、虐待防止に関する研修を行っております。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	1		・契約時にご説明し、書面にてご同意を頂いております。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。